

ワンストップ型の教育相談

～こどもたちや保護者の方からの教育相談機能を充実しています～

学校・学習に関する相談

家族関係に関する相談

教職員に関する相談

就学相談
(特別支援教育)

発達に関する相談

不登校に関する相談

ワンストップ相談窓口

指導主事・教育相談員

S SW(スクールソーシャルワーカー)

臨床心理士

ブリッジスクール

特別支援教育係

ワンストップ型の教育相談

教育委員会では、学校教育に関連する相談内容の多様化に対応するため、相談機能を充実させています。従来、教育センターや指導室、教育支援課等にあった教育相談窓口を教育センター内に移設し、ワンストップ型の教育相談窓口を開設しました。これまでは、教育相談の多様化に伴い、学校配置のスクールカウンセラーをはじめ、教育センター・指導室・学校支援課など、様々な機関に専門家を配置し、相談体制の充実を図ってきました。

SNSでの教育相談

区立中学生を対象に、より気軽にいじめや人間関係など様々な悩みを相談できる窓口として、今年度よりLINEによる

教育相談を実施します。

期間は、こどもたちが悩みをかかえやすい、夏休み明けの2週間です(8月26日～9月8日)。

専門のカウンセラーとチャットにより、様々な相談をすることが出来ます。相談時間は、スマートフォンなどを利用しやすい午後5時から午後9時まで受け付けます。

問題が深刻化する前に、一人一人に寄り添った心のケアを実施していきます。

教育相談窓口

TEL (3649) 3834
FAX (6458) 6087

スクールロイヤー 制度の導入

こどもたちが安心して学校・園生活を過ごせるよう、区では4月から、弁護士が区立学校・区立幼稚園に対して法的な観点から継続的に助言を行う「スクールロイヤー(学校弁護士)制度」を導入しています。

法律の専門家である弁護士が、その専門知識、経験等に基づき、法的側面から助言を行うことで、訴訟へ発展することや事態の長期化を防ぐことにより、こどもたちが安心して通学・通園できる環境を整えていきます。

指導室

TEL (3647) 9179
FAX (3647) 6505

オリンピック・パラリンピック教育推進

区では、「オリンピック・パラリンピック教育推進計画」に基づき、各学校や幼稚園において取組みの充実を図っています。開催まであと一年となった今、区ならではの様々な取組みを工夫して行っています。

- ①世界の国旗・国歌についての講演会
- ②区内競技会場の見学
- ③中学生の部活動を応援

区内競技会場の見学の様子は、区のホームページでご覧いただけます。



今年度は、これらの取組みに加えて区内小・中・義務教育学校の全児童・生徒に学習リーフレットを配布し、学びを深めています。内容は、区内会場の競技、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の出場を目指している選手から、区のこどもたちに向けた応援メッセージを掲載しています。



第七砂町小学校
メキシコ料理
タコスミートサンド
ソパ・デ・トルティーヤ
牛乳、美生柑

世界の国々のメニュー

「オリンピック給食の日」を設定し、過去のオリンピック・パラリンピックの開催都市の料理を給食のメニューに入れていきます。当日は、献立の説明とその国の食文化やオリンピックの出来事等を紹介したプリントを配布する等としています。



深川第五中学校
デイカウンターを作成した
美術部の皆さん

【学校での取組紹介】
各学校では、それぞれが工夫した取組みを行っています。その中の一部をご紹介します。

デイカウンターの設置

オリンピック・パラリンピック競技大会まで何日かを示す「デイカウンター」を作成し、校門の前等に掲示しています。

区には、小・中・義務教育学校に通うすべてのこどもたちに身に付けさせたい内容を示した「ことう学びスタンダード」があります。各校ではスタンダードの定着を目指すために、自校の特色を活かしながら様々な工夫をしています。スタンダード強化講師等と連携を深めながら、より分かりやすい授業を目指して取り組んでいます。

これまでの成果と課題を踏まえ、新しい学習指導要領に基づいた学習に確実に対応するとともに、幼稚園段階との接続をより意識した「ことう学びスタンダード ネクストステージ」として取り組みのいっそうの充実を図ってまいります。

今後、「どの子も伸びる学びのまちことう」を目指し、一人一人を大切にした授業を展開しながらスタンダードの定着を図ってまいります。

TEL (3647) 9179
FAX (3647) 6505



ことう学びスタンダード ネクストステージへ

ことう学びスタンダード

平成24年度から「学び方」「体力」「算数」
平成25年度から「国語」「数学」「英語」
すべてのこどもに身に付けさせたい内容を厳選して示す

これまでの成果と課題・学習指導要領等改訂・幼小中の連携

ことう学びスタンダード ネクストステージ

<主な変更点>

- ☆身に付けさせるための指導方法例・授業展開例を示す
- ☆学習指導要領の改訂等に伴う内容の変更
- ☆幼稚園スタンダード（仮称）の新設



**江東区放課後こどもプラン
平成31年3月策定
令和2年度から放課後支援
事業を充実**



きつずクラブ・学童クラブでの放課後支援を充実させるために、平成31年3月に放課後こどもプランを策定しました。

現在、プランの取組方針に沿った新規事業の詳細設計を行っており、条例改正などを経て、令和2年4月から事業を開始する準備を進めています。

令和2年度開始予定事業

主な事業内容はきつずクラブの保留児童対策として、小学校増築等に伴い、需要に見合った育成室の確保、きつずクラブA登録の利用児童が特定の時間にきつずクラブB登録を利用できる仕組みづくりを行います。それに伴い、きつずクラブA登録の延長利用は廃止する予定です。

また、長期休暇期間などの一日育成時の開所時間の前倒し、土曜きつずクラブの再編を行い、利用児童の入退室管理のICT化なども検討しています。

今後、ことう区報や募集案内等で適宜、詳細をお知らせしていきます。また、この他にも放課後支援事業の質の向上に取り組んでいきます。

プランの目的・方針等

【目標年次】平成31年度よりおおむね10年※本プランではこのうち前期5年の取組方針を示し

ます。

【対象事業】放課後児童クラブ（現在のきつずクラブB登録、学童クラブ）、放課後こども教室（現在のきつずクラブA登録、土曜江東きつずクラブ）

【目的】対象事業の質的向上、効果的・効率的な仕組みづくり

【位置づけ】国の「新・放課後子ども総合プラン」における市町村行動計画

計画の方針

【全体方針】

- 方針1 きつずクラブの推進
- 方針2 わかりやすい事業名称への統一

【量の確保】

- 方針3 放課後児童クラブにおける保留児童対策
- 方針4 放課後児童クラブ利用方法の弾力化と放課後こども教室の開所時間の見直し

【質の向上】

- 方針5 放課後児童クラブにおける開所時間の見直し
- 方針6 放課後児童クラブにおける土曜日の育成
- 方針7 放課後こども教室における環境改善と自主性・自立性を高める仕組みづくり
- 方針8 特別な配慮が必要な児童への適切な対応

【体制づくり】

- 方針9 地域との連携と積極的な情報発信
- 方針10 業務の効率化等による持続性の高い運営方法の推進

地域教育課放課後支援係
TEL (3647) 9308
FAX (3647) 9274

すすめています！

教員の「働き方改革」

教員の働き方改革は待ったなしの状況です。

朝はこどもたちが登校する前の午前7時頃から準備し、午後8時を過ぎても資料作成に追われ、土日は部活動。これは教員の「よくある」勤務実態です。過度な長時間労働は、教員の心身の健康面だけでなく、「教育の質」や「教員がこどもと向き合う時間」に影響を及ぼします。教員の働き方改革は、こうした現状を是正し、こどもたちに良質な教育を提供するために必要なものです。

昨年度は、次の取組みを行いました。

- 学校閉庁日の実施
 - 留守番電話の全校導入
 - 部活動休養日の設定
 - 部活動指導員の試行導入など
- 今年度も、引き続き学校閉庁日を実施するほか、部活動指導員の本格実施やスクールサポート・スタッフの試行導入など、教員が本来業務である教育活動に専念できる環境整備を進めていきます。また、ICTを活用した業務効率化や学校行事等の見直し、教員の意識改革などを積極的に取り組んでいきます。
- 教員の働き方改革には、保護者や地域の皆様のご理解・ご支援が重要です。未来を担うこどもたちのため、引き続きご協力をお願いいたします。

庶務課教育政策調整係
TEL (3647) 8542
FAX (5690) 6911

学び続ける 熱い先生たち



『教師が伸びると こどもも伸びる』

先生たちが自主的に学んでいる
2つの研修を紹介します。

東京都 教育研究員

- 教育課題（安全教育）：工藤 真麻(つばめ幼)
- 算数：星野 恭則(浅野小)
- 社会：松尾 美希(豊北小)
- 青島 健太(二砂中)
- 家庭科：木元 千春(浅野小)
- 外国語活動：米山 繁(南陽小)
- 体育：関川 祐亮(浅野小)
- 保健体育：柴山 暁人(深二中)

東京教師道場

2年間にわたり、各教科等での授業研究を通して、その専門性を高めていく制度です。「部員」は4年目から10年目の教員が対象で、授業力の向上を目指します。「リーダー」は、授業力に優れた教員が部員に対し指導・助言を行います。

【2年目】<部員>

- 国語：木原 小百合(豊洲北小)・寺内 彩奈(深四中)・飯田 雅敏(三亀中)
- 社会：川嶋 美文(砂町小)
- 理科：石井 綾(扇橋小)・尾内 紀之(二南中)
- 音楽：牧野 由貴(三砂小)
- 体育：満山 一平(南陽小)
- 図工：内藤 豪(有明小)
- 美術：高澤 健太郎(辰巳中)
- 特別支援学級：岩村 優衣(東砂小)

【1年目】<リーダー>

- 数学：加藤 尚代(深四中)
- 理科：山田 悠馬(有明小)
- 体育：金村 真道(明治小)

【1年目】<部員>

- 国語：久納 幸恵(越中島小)・望月 美香(三大小)・奥野 萌(亀戸中)
- 算数：柄原 晃一(五大小)
- 理科：北山 紗恵佳(大島中)・高橋 溪(深八中)
- 社会：柳川 浩規(二砂中)
- 道徳：土谷 英純(水神小)
- 体育：入来 祐有(扇橋小)
- 外国語活動：菊田 恵里(東砂小)



区の推薦を基に都で選ばれた教員が集まり、1年間にわたり、各教科等の専門性をより一層高めていく制度です。